

皆さんと一緒に考え提案します

# 斎藤竜一の7つの政策

1

## 子育て支援事業の推進

渋谷区子育てネウボラを拠点として、渋谷区独自の子育て支援環境を推進します。待機児童対策を継続し、質の高い保育環境を整備します。

2

## 家庭・学校・地域の中で心身ともに健全な教育の推進

未来につながるICT・英語教育を推進します。

3

## 高齢者やハンディキャップがある人も安心して暮らせる環境づくりの推進

人生100年時代をみすえ、介護予防事業を推進します。

4

## 自然や環境に優しい街づくりの推進

防犯につながる、地域美化活動を推進します。プラスチック製品の削減や再資源化に取り組みます。

5

## 震災などの都市型災害と地域犯罪対策の推進

地域の防災訓練など、ご近所の顔が見えるコミュニティを創造していきます。防犯カメラなどを拡充し、安全・安心な生活環境を構築します。

6

## 活気ある商店街振興策の推進

キャッシュレス決済端末、観光WiFi環境の整備を拡充します。

7

## 地域コミュニティ施設整備の推進

区内のあらゆる資源を活用し、福祉・子育ての拠点などコミュニティ施設を整備します。

渋谷区独自の新型コロナ対策を提言し、渋谷の未来を守っていきます！



渋谷区議会議員

斎藤竜一 事務所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-30-3  
TEL. 03 (5333) 6735 FAX. 03 (5333) 6782 mapleryu@pe.catv.ne.jp



討議資料

渋谷区政報告 令和3年第2回定例会 特集号

# あなたの一番近くの行政

# 渋谷区 暮らしのお手伝い



渋谷区議会議員

# 斎藤竜一

自民党

# 令和3年第2回定例会



## 区民福祉の増進のために自民党議員団は提言しました

### 第75代渋谷区議会議長に就任しました

5月24日の臨時議会で、伝統ある渋谷区議会の議長に就任いたしました。その職責の重さに身の引き締まる思いではありますが、誠心誠意、全力を尽くしてまいります。

行政のチェック機関である議会で審議された議案を速やかに実行し、的確に負託に応えてまいります。

これからも一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い致します。



### 行財政施策について

皆様に一番身近な行政として、区民福祉を後退させるわけにはいきません。持続可能な行政サービス提供のために、コロナ禍で税収の減少の可能性も視野に入れなければなりません。中長期的に本区の財政が厳しくなった場合の、財務戦略の最適化と行政サービスの効率化の方針について検討を進めてまいります。



### 家庭ゴミの有料化について

自由民主党議員団は、現時点での家庭ごみの有料化は時期尚早であり、更なる調査と検証が必要と考えます。また東京都23区で共同処理していることから全体で判断すべき事項であり、現時点で本区のみで実行すべきではないと考えます。現状では、国会で法整備されたプラスチックに係る資源循環の促進について、プラスチック製品の使用の削減や再資源化に取り組んでまいります。



### スポーツ振興について

東京2020大会開催後、パラスポーツ振興を推進するために専門部署を設置すべきと考えます。また、高齢者のコミュニティづくりや認知機能低下予防、障害者の就労支援等の観点から、世界中で展開されているeスポーツを推進します。さらに、区民の運動機会を確保するために、スポーツセンター、猿楽トレーニングジムなど、他人と接触のないスポーツの場については感染症対策を十分行った上で、適切な運営を継続いたします。

**eスポーツ**：「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

### ICT教育について

新たな学びの場の実現のために、ICT教育の更なる推進を図ります。デジタル教科書の実用化に伴い、学習に影響がないよう個に応じた指導への教員対応と、全児童生徒の同時使用に耐えられるICT環境の整備を行います。また、学校と家庭の連絡手段について、アプリケーション「ホームアンドスクール」を有効活用することにより保護者からも学校に連絡できる双方向連絡手段とします。

**ホームアンドスクール**：保護者向け情報発信ツール。携帯電話・スマートフォン・パソコンなど利用端末に縛られずに、学校から保護者へ情報を配信・確認することができます。保護者から学校への欠席届の発信等の機能が追加されました。

### 待機児童解消について

安心して子育てできる渋谷を目指して、継続した待機児童解消を図ります。本年5月現在で0となりましたが、ニーズに沿った入園調整、病児保育機能の立地のバランスを勘案した施設拡充、さらに保育の質の向上、の三点について保育環境のさらなる整備を推進します。保育園の実情を把握するため、区民の目線で現場への訪問指導等をこれまで以上に強化して保育環境の維持と質の向上を進めてまいります。



### 高齢者デジタルデバインド解消事業について

65歳以上を対象とした3000台のスマートフォンの貸与が、無償貸与だけが目的となってしまうよう、端末の貸与と使い方サポートという両輪で事業を進めることで、区内高齢者の安全安心を実現します。また、実証事業により取得される様々なデータを本区の高齢者対策事業の構築・改善に活用いたします。



### ふれあい植物センターについて

ふれあい植物センターの改修について、清掃工場建設の経緯をあらためて理解し、地元周辺の住民のための還元施設であることを踏まえ、近隣住民の雇用や、施設使用への優先枠等を考慮した運営方針を実現します。

